

竹の子会の基本目標

1. 人間形成への修練
1. 地域社会への奉仕
1. 会員相互の親睦



竹の子会会報

No.609

竹の子会総務委員会

令和3年1月14日

新年ごあいさつ



第65期
会長
今西 勇人

あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては輝かしい
新年をお迎えのこととお慶び申し
上げます。

旧年中は会員の皆様ならびに特
別会員の皆様には多大なるご尽力
を賜りましたこと、厚く御礼申し
上げます。

第65期が昨年7月にスタートし、
気がつけば既に折返し地点となりました。思い返せ
ば未だ終息の見えない新型コロナウイルスに翻弄さ
れた半年間でした。委員会活動や例会、事業活動
を含め全ての事柄がコロナウイルスの影響を考慮した
上で計画していかなければならず、常に頭を悩ませ
ました。その様な状況の中でも今期のスローガン『継
往開来～大志を抱け！感謝の心と共に～』を念頭
におき、事業計画を立て委員会活動をしていただいた
会員の皆様には感謝の気持ちで一杯です。

今期も例年通り「会員オリエンテーション」より
始まりましたが、密を避けるため青年の家の講堂で
行われました。緊張感漂う中8人の新入会員を迎え、
最初は辿々しい部分もありましたが最終的には活気
溢れるオリエンテーションになりました。「7月度
例会 総会懇親会」はコロナウイルスの影響もあり
ギリギリまで開催が危ぶまれましたが、大垣市長小
川敏様をはじめ多数の御来賓、特別会員の皆様に御
臨席賜り無事開催する事が出来ました。しかし安心
したのも束の間、「8月度例会 水門川万灯流し」、「交
通遺児夏のつどい」、「十万石ふるさとまつり」と立
て続けに、つどい事業や例会が新型コロナウイルス
の影響で中止となりました。もちろん私も残念な気
持ちで一杯でしたが、それ以上に、青年のつどい協
議会直前会長の金山幸生君や副会長の市川崇史君を

中心として出向した会員の皆さん、また小島奉仕委
員長をはじめとした委員会の皆さんはさぞ悔しい気
持ちだったかと思います。それぞれの事業のために、
何度も集まり協議や議論を交わし思い描いた事業が
実現出来ないのは本当に悔しいと思います。しかし、
決して費やした時間は無駄ではありません。仲間と
過ごしたたわいもない時間が気づかない内に自分を
大きく成長させているのだと思います。

9月に開催された「9月度例会 講師例会」では
田中悠氏をお招きし、「未来子供教育」というテー
マでご講演いただきました。座学だけではなく実際
に身体を使って子供と出来る運動遊びの方法を学び、
子育て世代の会員メンバーにはとても実践的な内容
をご教授いただきました。

「10月度例会 64期新入会員例会」では64期の際
に中止になってしまった例会を、今期65期に改めて
開催しました。「竹の子オリンピック！」と題して、
新入会員が考案した多種多様なアイデアが盛り込ま
れた競技で競い合い大いに盛り上がりしました。また
64期に卒業された渡邊OB、山下OBも駆けつけてく
ださり久しぶりの例会参加に大変喜んで下さいまし
た。その後の懇親会にもご参加いただき、変わらない
後輩達の熱い想いに涙した渡邊OBの姿を見て改
めて竹の子会は素晴らしい会だと実感しました。

「11月度例会 家族親睦会」では日頃の感謝を込
め、ミシュランシェフの料理でおもてなしをしよう
と企画し、ザ・グランドティアラにご家族を招待し
ました。雰囲気の良い会場と素晴らしい料理、豪華
景品にちょっとしたマジックショーに子供たちも興
味方も大喜びでした。

「12月度例会 交通遺児クリスマス会」では8月
の夏のつどいが中止となり、夏の思い出を作れな
かった子供たちのために、射的や輪投げ、カキ氷な

ど夏祭りにちなんだアトラクションが用意されました。そして最後にはバスで移動し子供たちが事前にデザインした花火を目の前で打ち上げ寒空を色とりどりに彩りました。ここで見た花火は子供たちも含め私たち会員一同も生涯忘れることのない打ち上げ花火になったかと思います。

また「城下町大垣イルミネーション」では市川部会長のアイデアのもと、竹灯ランプをつどいメンバーで制作し、大垣駅前を煌びやかに灯し大成功に導きました。

こうして第65期前半も様々な事業を行い、たくさんのお話を学ばさせていただきました。ご尽力いただきました各委員会、関係各位の皆様には改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。中

止となった事業もありましたがそこから更に学び柔軟に対応していく事で私たちは成長出来るのだと確信しております。私たちは常に変化と成長を求めていかなければなりません。それが私たちの生きる力となり、新しい価値や人々の笑顔と感謝を生み出していくのだと思います。

最後になりますが第65期後半にも様々な事業が控えております。特に今期は65周年記念事業、記念式典など、会員、特別会員の皆様にまだまだ多くのお力添えが必要となって参ります。これまでと変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。また皆様の今年一年のご健康、ご多幸を祈念して新年の挨拶とさせていただきます。

例 会(家族親睦会)

日時：令和2年11月22日(日) 場所：ザ・グランドティアラ ゲストハウスモントレゾール



親睦委員会
委員長
原 一翔

去る11月22日(日)にザ・グランドティアラ ゲストハウスモントレゾールで第65期大垣竹の子会11月度例会家族親睦会が執り行われました。多数の現役会員とご家族の皆様にご参加いただき、本当にありがとうございました。

家族親睦会は普段会員が会の活動を行うにあたって、支えてくださっているご家族の皆様楽しんでいただく大切な事業ですが、今回は新型コロナウイルスの影響があり、その対策も含めた上で皆様に安心していただける会となるよう委員会で意見を練ってきました。手指のアルコール消毒、換気、マスク着用や、食事を個々に提供するな

ど行いましたが、完全とは言えない対策となり皆様にはご迷惑をおかけする形となってしまいました。

今回は皆様に楽しんでいただくためのアトラクションとして、マジックショーとビンゴゲームを用意させていただきましたが、特にビンゴゲームでは今期入会の小寺君と土川君がスーパーマリオブラ



ザーズのコスプレに扮して司会を担当し、大いにビ
ンゴを盛り上げ、ご家族の皆様を楽しませてくだ
さいました。

今期も半分が過ぎ残る担当事業は卒業生を送る会
を残すのみとなりましたが、卒業生の方に満足して
いただけるように頑張っていきたいと思います。



例会(交通遺児クリスマス会)

日時：令和2年12月6日(日) 場所：大垣フォーラムホテル



奉仕委員会
委員長
小島 裕則

皆様こんにちは。第65期奉仕委員
長を務めさせていただいており
ます、第60期入会の小島裕則です。
去る令和2年12月6日(日)大垣
フォーラムホテル松竹の間におい
て、(公財)大垣育英会様との共催
による、「交通遺児クリスマス会」
が行われました。当日参加して事
業を盛り上げていただきました会員の皆様と、さま
ざまな形でご支援いただいた会員の皆様のおかげで、
無事に事業を終えることができましたことを深く感
謝申し上げます。

今期は新型コロナウイルスの影響で交通遺児夏の
つどいが中止となり、また各市町村での夏の催し物
も中止となりました。それにより夏らしい思い出を
つくれなかったため、今年の締めくくりとして最高
の思い出を作っただけのよう、夏祭りをイメー
ジしたアトラクションを行いました。

当日は、来賓3名、育英会3名、児童6名、保護
者3名、会員25名の総勢40名の方々にご参加いただき、
例年以上に盛り上がったクリスマス会となりました。

例年、アトラクションにはパフォーマー(芸人)の
方に委託して会を盛り上げていただくところなので

すが、今年のクリスマス会は夏祭りをイメージした
アトラクションを行いたかったため、自分たちで出
店を出し、射的、輪投げ、景品釣り、かき氷を運営
することによって児童、保護者、会員と一緒に盛り
上がることの出来るアトラクションを行う事で大変
盛り上がる事が出来ました。パフォーマーの方や、
芸人の方を招いて行うアトラクションよりも自分た
ちで考えたアトラクションを行う事で、児童、保護
者、会員がふれあう機会が増え親睦が深まったと思
います。

また、今年は、新型コロナウイルスの影響で交通
遺児夏のつどいが中止となり夏の予算も頂けたので
花火を打ち上げることが出来ました。間近で花火を



打ち上げるには様々な許可を取る必要があり大変でしたが、児童、保護者の方には最高の思い出になったと思います。

今年は、例年通り竹の子サンタからのプレゼントを、リアカーにプレゼントを載せて渡すのではなく、新型コロナウイルスを考慮した空間を設け、竹の子サンタ自らプレゼントを持ち、各テーブルにプレゼントを渡す事によってスムーズにプレゼントを渡す

事が出来ました。

最後に、滞りなく盛大にかつ無事にクリスマス会を終えることが出来たのは、委員会のメンバーだけではなく、楽しんでいただこうとご協力いただきました会員の皆様のご協力をいただいたおかげです。児童、保護者の方の笑顔を見ることが出来、とても素晴らしい事業になりました。ありがとうございました。



1 2 月の予定

例会(新年互礼会)

中止